



ひいらぎ

令和2年度垂水市立柘原小学校 学校だより
 校 訓 自ら学ぶ子 やさしい子 元気な子
 キャッチフレーズ 笑顔があふれ 会話の弾む学校
 令和2年11月発行

日々の生活から礼を学ぶ

校長 仲村 智博

霜月に入りました。日暮れが早くなり秋の深まりを感じます。朝晩も寒くなってきました。そんな中、朝の集団登校時に、保護者や校区の方々と「おはようございます。」「いってらっしゃい。」「いってきます。」という気持ちのよい挨拶が交わされます。

中国から伝えられた「論語」の中に「仁」と「礼」について記述されています。「仁」とは人を愛すること、人を思いやり、尊重することです。しかし、この「仁」については相手に伝わりにくいのが難点です。そこで、孔子は、「仁」が態度や行為として外面にあらわれたものを「礼」としていました。相手を尊敬し、思いやる気持ちをはっきり伝えることが「礼」につながるということです。「ありがとう」「ごめんなさい」「おはようございます」「さようなら」など、心を込めてはっきり言えば、お互いに気持ちが良いということはあるまでもありません。人間関係は「礼」に始まり、「礼」に終わるとも言われています。この他にも「礼」の大切さを感じる場面はたくさんあります。これから社会へ出ていく子どもたちが、今だからこそ身に付けられるもの、ということ意識して、相手を思いやり、その思いをはっきりと伝えられるような子どもたちにしていきたいと思えます。

先月末に、各学級の畑でさつま芋の収穫を行いました。この苗は、校区にお住まいの本校児童のおじい様からいただいて植えました。大きなさつま芋が出てきたときには歓声が上がり、収穫の喜びを味わいながら楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございました。



【わくわくどきどき 秋の恵み】

かごしまの教育県民週間でした！

毎年、11月1日から7日までは、かごしまの教育県民週間と位置付けられ、県内各校で様々な活動が計画されています。

今年度は、新型コロナウイルス感染症への対応があり、例年通りに実施することはできませんでしたが、多くの方々にご来校いただきました。

この期間に、本校では、

- 祖父母参観
- 郷土の先輩の話を聞こう
- わくわくブックタイム

を企画しました。郷土の先輩の話を聞こうでは、柘原子ども会育成会会長の篠原勝彦さんにお越しいただきました。また、わくわくブックタイムでは、読み聞かせグループ「野いちご」の皆さんにお越しいただきました。

例年よりも企画自体は少なくなりましたが、どれも充実した活動となりました。ご来校いただきました、皆さん、ありがとうございました。

「心の教育の日」の取組がありました！

本校では、人権教育への取組の一環として、祖父母参観の日に、全学年で道徳の授業を実施しています。祖父母参観の日に実施することで、学校・保護者・地域が連携し、「心の教育」について考える機会とすることをねらいとしています。

今年度も、心の教育の日だけでなく、人権週間において人権標語を作成する等、取り組みました。

自他共に尊重し合いながら、心豊かにたくましく生きる子どもの育成に努めていきます。



【11月4日 郷土の先輩の話を聞こう】



【11月5日 わくわくブックタイム】



【3・4年生 道徳の様子】

受賞のお知らせです！

【たるみずジュニア美術展】

令和2年度の和田英作・和田香苗記念絵画コンクールが中止になったことに伴い、代替の美術展として開催されました。

パトラッシュ賞

3年 中田 美那 「1りん車」

ジュニア教育長賞

4年 木原 颯甫 「木にのぼるぼくたち」

奨励賞

3年 瀬戸口 大輔 「ピアノ」

5年 小野田 琉李 「つかれてくたびれた舟」

【南日本硬筆展】

推薦 3年 中田 美那

【第3回『夢の家』コンテスト】

建築士会支部長賞

1年 岩元 瑛寛 「いつでもあんなところにひなんできるよ」

入選

1年 中田 悠天 「おかしないえ」

2年 黒川 美結 「いろんなことができるへや」

2年 山田 花笑 「カラフルなへや」

7日～30日まで市民館玄関ホールに展示されます。

12・1月の主な行事

月	日	曜日	行事等
12	4	金	柘原海岸持久走大会、学級PTA
	11	金	租税教室（5・6年）
	24	木	終業式
1	8	金	始業式、あいさつ運動（～9日）
	9	土	土曜授業
	13	水	鹿児島学習定着度調査（～14日）
	14	木	学校給食試食会、授業参観、学級PTA

※ 寒い日が続きます。インフルエンザや新型コロナウイルス感染症の予防にも努めましょう。